

Windows 11 IoT Enterprise LTSC への移行が加速

産業機器への組み込みOSはレガシーなバージョンをできるだけ長く使う傾向がありましたが、昨今ではセキュリティ意識の高まりを受け、最新OSへの乗り換えを急ぐ傾向に変わってきています。本ウェビナでは、Windows 11 IoTへの移行を検討している方にとって、最適な選択の手助けとなるWindows OSの各エディションの特徴を網羅的に解説。また最新バージョンのWindows 11 IoT Enterprise LTSCの特徴、およびWindows 11 IoT Enterprise LTSC搭載FC（NEC）について紹介いたしました。

最新のWindows IoTライセンス情報

組み込み向けWindows OSの最新バージョンである「Windows 11 IoT Enterprise LTSC 2024」が2024年5月にリリースされ、同年10月からサポートライフサイクルがスタートしました。本OSは「Windows 10 IoT Enterprise 2021 LTSC」の後継に位置付けられる製品で、以下のような特徴を持つ製品です。

- ・リリースから10年間の長期供給・長期サポート（サポート終了日：2034年10月10日）
- ・バージョン固定（機能更新プログラム無し）により、装置の安定稼働が可能

Windows 11 IoTではさらに、新たに追加されたセキュリティ機能「Smart App Control」や、10 IoTから機能強化された「リムーバブルパッケージ」（使用しない不要な機能パッケージを削除し動作を最適化する機能）などがあります。10と11の機能比較についてもご説明いたしました。

NECはWindows 11 IoT Enterprise LTSC 対応ファクトリコンピュータをリリース予定

NECからは、ファクトリコンピュータ(FC)でのWindows 11 IoT Enterprise LTSC対応の今後の予定について、ロードマップ情報を交えてご紹介いたしました。

導入から長期間の運用・保守を求められる産業機器の分野では、ハードウェアのみならず、OSの長期サポートも求められます。NECのFCでは、Windows 11 IoT Enterprise LTSC対応モデルの拡充を進めるほか、引き続きWindows 10 IoT Enterprise LTSCモデルの販売も継続いたします。ご用途に合わせ最適なOSを選択頂けますので、是非お問い合わせください。

■ 本日の登壇者 ■



菱洋エレクトロ株式会社
ソリューション
第6ビジネスユニット
機種担当リーダー
永野 哲也 氏



日本電気株式会社
コンピュータ統括部
エッジプラットフォーム
販売推進グループ
高瀬 未希 氏

Windows IoT 11 Enterprise の機能

RYOYO

機能	Windows 10		Windows 11	
	2021	LTSC	2024	LTSC
Windows on ARM	○	○	○	○
Windows Subsystem for Linux GUI	○	○	○	○
Windows セミグラフィクス	○	○	○*	○*
Credential Guard	○	○	○	○
リムーバブルパッケージ	○	○	○*	○*
Smart App Control	×	×	○	○
Microsoft Pluton	×	×	○	○
Wi-Fi 6E対応	×	×	○	○
ライブキャプション	×	×	○	○
ワーキング	○	○	×	×
Internet Explorer	○	×	×	×

Windows IoT 10/11 Enterpriseの機能比較
出所：投影資料より一部抜粋

[他記事、ウェビナ、お問い合わせはこちら](#)



エンジニアによりそうマガジンサイト